

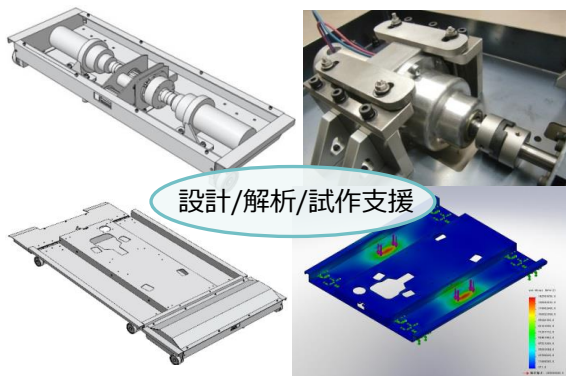
介助支援型スローパーの開発

支援の背景

福祉車両の販売・改造を手掛けている「タイヤランド沖縄」では、日頃から車椅子利用者や介助者からの要望や相談が多数寄せられています。特に介助者からの要望は多く、内容によっては既存製品で対応できない場合もありました。そのような課題を解決できる製品が開発できないか模索していました。

支援内容

比較的安価に導入できるスロープタイプの装置に着目し、介助者における要望や課題を整理しました。その結果、①車両への乗降時に腕力が必要、②狭い車内での車椅子固定作業が煩雑、③電動装置が必要となったときに、車両の買替えが必要な場合がある、ということが大きな課題であると判明しました。そこで、当センターで設計や強度解析、試作などの支援を行い、これらの3つの課題を解決する「介助支援型スローパー」を開発することができました。



開発中の支援項目



開発装置を取り付けた車両

支援の成果

- ① 後付けで既存スロープに設置して、低コストで乗降作業を自動化し、介助者の負担を軽減する装置が開発できました。
- ② 乗降部が車外へと出るため、狭い車内での車椅子固定作業が大幅に削減されました。
- ③ 装置の構造に関して、特許(特許第6108283号)を取得することができました。